

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分		新規	整理番号	9	課題区分	C	令和7年(2025年)4月25日		
横断的な課題		3穏やかに暮らし続けられる地域づくり						上田地域振興局	
地域重点政策		3穏やかに暮らし続けられる地域づくり							
実施機関		上田地域振興局			担当課	所属	保健福祉事務所食品・生活衛生課		
事業名		人と動物との共生社会の構築事業				電話	0268-25-7152		
						E-mail	uedaho-shokusei@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	人と動物のより良い関係を築くための情報発信を行い、関係機関との連携構築と地域猫の取組への意識の醸成を図る							
	現状と課題	地域の猫問題や生活困難、ゴミ屋敷などに付随する多頭飼育問題の他、高齢化社会におけるペット飼育放棄の問題も多く発生している。猫が増えることで起きる問題は、早期に相談窓口につながり、対処することが重要である。そのために、行政、地域住民や福祉サービスに携わる関係者が、予防の重要性を認識するための情報発信、相談体制のネットワークを構築する必要がある。 現在、上田保健所管内では地域の猫問題に対して市町村と連携して地域猫活動を進めている。地域猫とは地域の協力を得て、地域で管理されている特定の飼い主のいない猫で、地域猫活動とは地域における猫トラブルを解決するための仕組みづくりで、地域のルールに基づいて猫を適切に管理し、繁殖制限を徹底し、猫をこれ以上増やさず被害の拡大を防ぐものである。上田市では2018年より自治会申請による地域猫活動を開始し、2024年度までに上田市内241自治会のうち149自治会で地域猫活動の申請があり1,834匹に手術を実施している。2018年には保健所の猫の収容数が87匹(内仔猫69匹)から2023年度には51匹(内仔猫29匹)となり上田市での猫の路上死の数は365匹から194匹になり、住民始動の地域猫活動の推進により環境被害拡大への予防効果もあり、成果が見えている。地域猫活動が自治会始動で広まることにより、多頭飼育への対策にもなっている。地域猫対策や多頭飼育崩壊予防への理解とセーフティネット構築が求められる。							
	内容 (変更後の内容)	人と動物の共生社会の実現のために、情報発信を行う。特に社会問題化している多頭飼育崩壊と地域の猫問題の他、災害対応や高齢化社会でのペット飼育、ペットを飼い始めるときの心構えなど広く人と動物について周知を図る。 ①猫の勉強会の開催(自治会、福祉関係者、地域猫管理者、ボランティアなどそれぞれのグループごとに開催) ②人と動物の共生社会について考えるフォーラムの開催 開催日:未定(昨年度:1月27日) 開催場所:未定(昨年度:上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ)大スタジオ ・実施内容:人と動物の問題について考えるフォーラム ・参加者:自治会、地域住民、市町村(環境、福祉関係)及び社会福祉協議会の職員等約100名 ・アーカイブ配信:長野県内や全国との意見交換 ③多頭飼育解決への対策 ・動物の飼育状態の改善を図る(不妊去勢、治療)とともに、福祉と連携し、人と地域の生活環境を改善する							
事業期間		令和7年(2025年)4月			～	令和7年(2025年)3月			
事業費等	(単位:円)								
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考		
	地域社会への発信事業		フォーラム開催経費		450,000		講師委託料等、研修資料、チラシ印刷代など		
	多頭飼育問題環境対策費		不妊去勢手術に係る報償費		150,000				
合計				600,000					
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況	
	フォーラム出席者(自治会、環境・福祉の行政など多職種の参加を呼びかけ多機関連携構築を目指す)			100名				○ 達成	
	関係機関との連携構築(自治会、福祉関係者)勉強会			40名				○ 一部達成	
	多頭飼育問題解決、手術頭数など			27匹(崩壊セロ)				● 未達成	

事業実績・成果	
今後の方向性	